

お屠蘇で新年をお祝いしましょう！

実施日：2024年12月23日（月）

場所：関西大学 3202 教室

対象：「基礎漢方薬学」履修者

大阪医科薬科大学の「基礎漢方薬学」の担当者である芝野真喜雄先生より、「日本の平安時代の宮廷行事を起源として民間に伝承された生薬を使った本来のお屠蘇を元旦に飲み、長寿と健康を願って新年をお祝いしましょう」との企画で、大阪医科薬科大学の薬学部の学生だけでなく、関西大学の「基礎漢方薬学」の履修者に向けても屠蘇散の生薬が贈られました。新型コロナウイルス感染対策で4年間、実施が見送られていましたが5年ぶりの復活となりました。

5種類の基本の生薬（桂皮、白朮、陳皮、防風、山椒）以外に独自ブレンドとしてこれまで生薬学で学んだ甘草、桔梗、茴香、丁子、乾姜などを加えた10種類が用意されました。昨今の情勢で食品だけでなく生薬もかなり値上がりしているとのことでした。

作り方は好みのブレンドの生薬をお茶袋に入れて一晚（長すぎるとエグ味が出るため）、一合（180ml）くらいの日本酒または本みりんに浸漬し、2日以内に飲みきって下さいとのことでした。シナモンアレルギーの注意と、お酒が苦手な学生の方はチャイのように煮出し紅茶で飲んでも美味しいとのことでした。履修生たちは基本の生薬に、各自の好みの生薬を配合し、封筒やジップ付きビニール袋に入れて持ち帰りました。元旦はオリジナルのお屠蘇で家族団欒を楽しむことでしょう。

